

## 直接請求 (条例改正) を否決

### 直接請求案：議員報酬30%削減と定数を6人減

(署名数7272人で有効署名数6796人を添えて提出。)

12月21日 本会議の結果 (議員報酬と定数についての議案)

#### 1 議員報酬約12.3%削減で可決

議 案	議 員 報 酬	定 数	採 決
議案第74号 直接請求案	議員報酬30%削減 月額報酬57万円を39万9000円に。	6人減 24人を18人に。	賛成 0 否 決
議案第76号 についての修 正案	議員報酬約12.3%削減 月額報酬57万円を50万0000円に。		賛成多数 可 決

\*可決した修正案は、議員報酬を約12.3%削減し、月額報酬57万円を50万0000円に改める内容。

(年額では、925万円の報酬が813万9千円となり、111万円の減少となる。)

ただし、議員の定数削減は、0です。

#### 2 直接請求の成果！

議員報酬約12.3%削減される。

約7000人の直接請求の署名を無視することはできず、議員は、生駒市特別職報酬審議会の答申を受けて、提出された第76号議案を一部修正し可決しました。

また、生駒市特別職報酬審議会への諮問が行われ、答申が出されたのは、今回の直接請求が契機で行われたものです。

しかし、議員報酬削減については、一定の前進があったものの、定数についてはまったく削減されておらず、大いに不満が残ります。

ひき続き定数の削減と報酬の削減を求めて、活動を継続していくつもりです。

3 今後の課題（議員定数の削減）

\* 生駒市（24人）と大東市（17人）の比較

	人口	議員定数	議会の削減についての考え
生駒市	120,000人	24人	定数6減に反対
大東市	127,527人	17人	議員の数の問題ではなく資質の問題。 (議会での削減賛成討論「議事録より」)

\* 直接請求について、市長の意見書

今回の直接請求案の定数6減については、賛成の意見を付けています。

(市長の意見書抜粋)

② 現在の市議会議員が当選して以降今日までの市議会本会議における一般質問は平均して15人程度であること等から、議員定数が18人となっても議会審議に大きな影響があると思われず。等

☆ 議員定数18人（6減）で議会審議が可能。（大東市・市長の意見書）

\* 本会議で削減根拠を説明

12月9日の本会議で、請求代表者として意見陳述を行い、議員報酬30%削減と定数6削減の根拠を説明しています。

その意見陳述の内容は、生駒市公式ホームページで、[定例会録画12月9日](#)をクリックすると録画映像がご覧になれます。(生駒市議会、本会議録画)

大東市・意見書・意見陳述等を参考にして頂き、市民の皆様の判断材料にして頂きたいと思えます。

また、今回の直接請求で、各新聞社の報道、4つのテレビ局が報道し、市政について市民の関心も高まったと聞いています。

★ 直接請求をふりかえって

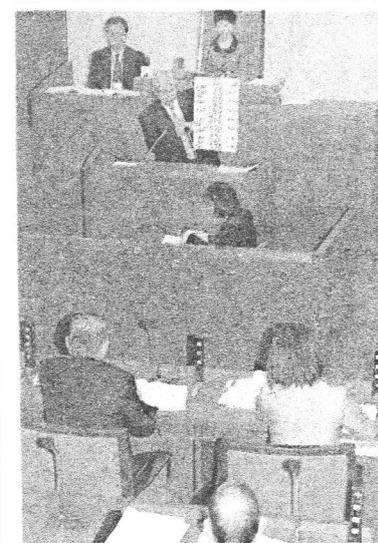
- ① 市民にアンケートを実施（条例改正案を作成）
- ② 署名集めを9月16日～10月15日迄行う
- ③ 10月19日署名7272筆を選管に提出
- ④ 11月17日有効署名6796筆が確定
- ⑤ 12月9日本会議で意見陳述
- ⑥ 12月21日条例改正案否決（約12.3%削減可決）

最後に、多くの署名を頂き、ありがとうございました。

(平成22年) 12月10日 金曜日 享月

「見張り番」  
代表幹事 生駒市議の定数・報酬削減  
本会議で趣旨説明

生駒市議の定数と報酬を削減する条例改正案を直接請求した「見張り番・生駒」の阪口保代表幹事は9日、市議会本会議で趣旨を説明した。「市民の目は非常に厳しく、市民アンケートでは日額制やボランティア制を求める声もある。6796人の署名の思いを真摯に受け止め、可決してほしい」と訴えた。



壇上から定数と報酬の削減理由を述べる阪口保代表幹事＝生駒市議会

値上げ経過をまとめた紙を掲げ、「バブル経済の崩壊やリーマン・ショックで市民や職

員の給料は下がっているのに、議員の過去14回の条例改正は値上げばかり」と厳しく批判した。  
元議長の汚職事件の例を挙げ、「監視能力が発揮されたとは言いがたいし、政策立案もほとんど見られない」と指摘

し、現行約57万円(の30%削減を求め、定数の6減に、人で運営して、例を挙げ、聞いてい